

各 位

上場会社名 株式会社SJI
代表者 代表取締役社長 李 堅
(コード番号 2315)
問合せ先責任者 常務執行役員 経営企画本部長 大槻 二郎
(TEL 03-5769-8200(代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年2月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	21,533	1,135	1,061	156
今回発表予想(B)	22,020	1,316	1,241	80
増減額(B-A)	487	181	180	△76
増減率(%)	2.3	16.0	17.0	△48.7
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	25,794	1,441	1,247	△248

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	7,976	84	129	△44
今回発表予想(B)	8,221	263	331	△71
増減額(B-A)	245	179	202	△27
増減率(%)	3.1	213.1	156.6	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	1,289	693	364	319

修正の理由

連結業績予想の修正理由

売上高については、日本における一括受託開発を含むシステム開発及びオフショア開発の受注持ち直しと、昨年12月に子会社化したDGT インフォメーション・システム・リミテッドの第4四半期分の業績寄与等により、前回予想に対し487百万円の増加となる22,020百万円となる見通しです。

営業利益及び経常利益については、日本における売上高増加の影響に加え、継続して取り組んだ固定費の削減を中心とした経費削減効果等により、それぞれ前回予想に対し181百万円の増加となる1,316百万円、180百万円の増加となる1,241百万円となる見通しです。

当期純利益については、中国子会社のOTCブリティンボードへの株式公開に際し、のれん前倒し処理等により約68百万円の費用が増加したことを主要因として、156百万円の計画に対し80百万円となる見通しです。

個別業績予想の修正理由

売上高については、一括受託開発を含むシステム開発の受注持ち直しにより、7,976百万円の計画に対し8,221百万円となる見通しです。

営業利益及び経常利益については、売上高増加の影響に加え、継続して取り組んだ固定費の削減を中心とした経費削減効果により、それぞれ当初予想に対し179百万円の増加となる263百万円、202百万円の増加となる331百万円の見通しです。

当期純利益につきましては、昨年実施した国内グループ会社3社統合に伴う開発工程管理システムの減損損失が約20百万円発生し、またソフトウェア製品事業におけるソフトウェアの評価損約10百万円を計上いたしました。また、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額の見直しをおこなったことにより、△44百万円の計画に対し、△71百万円となる予定です。

※上記の差異の内容につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。